

Bizteria 経営企画

Vol.29

ビズテリア経営企画

特集

競争力を創る マネジメント

Understand dividing line between success and failure of transforming your business.

「組織診断」と「総報酬」意識を高めるキーワード

社員が本気で働きたくなる環境とは
株式会社みのり経営研究所 秋山 健一郎

脱・旧来型!“新・営業戦略”へ

潜在ニーズに気付かせる“提案力”が鍵
株式会社 経営科学アカデミー 富澤 翕

「労務管理」の落とし穴 正しい理解が「労務倒産」回避の道

中小企業の生き残り・成長策の鍵に
中小企業経営労務研究所 岡本 孝則

社員がやる気になる人材マネジメント

人が育つ組織を創る!
これまでの常識にとらわれない人材育成型人事制度とは
ヒューマンズコンサルティング株式会社 熊原 徹司

「リーダーシップスタイル」:100人居たら100通り

技術オタクの1君、技術を評価されチームリーダーに
株式会社ワーク・トラスト 田村 さつき

顧客価値向上を実現するマネジメントとは

競合他社に負けないビジネス戦略の基本は顧客ロイヤリティ獲得である
エイチ・エフ・エム・コンサルティング 本田 伸孝

「利は元にある」連載(第1回)

グローバル競争時代の新解釈
株式会社 戦略調達 中ノ森 清訓



「労務管理」の落とし穴 正しい理解が「労務倒産」回避の道

中小企業の生き残り・成長策の鍵に



中小企業経営労務研究所

所長・社会保険労務士

岡本孝則

Takanori Okamoto

経営環境の変化は労使関係にも及び そこに「労務倒産」の危険が潜む

一昨年のリーマンショック以降、企業の経営環境は非常に厳しくなっています。不景気で消費（需要）が鈍っているのに商品量（供給）は多いという、いわゆる需給バランスの崩れが一つの要因。もう一つは、世界を相手にしていかなければならないというグローバル化の進行です。このことは大企業と中小企業の二極化を招きます。そして中小企業の大部分が“負け組み”に入り、会社存続に四苦八苦しているのが現状ではないでしょうか。事実、中小企業の倒産・廃業が相次いでいます。会社法改正の影響から、資金が無くても会社を設立しやすくなりましたが、反面、つぶれるのも早い。5年、10年と続く会社が本当に少なくなりました。

そして、更に問題なのが“コンプライアンス”への取り組みです。昔と違って自社の利益のみ追求するのではなく「周囲との協調」や「環境との関係」なども含めたバランスのとれた経営が必要

となります。労働契約法や公益通報者保護法等の労働者保護に関する法律が相次いで施行され、コンプライアンスに反する行為をしていると内部通報によって公的機関やマスコミ等に暴露され、会社存続を危うくすることになります。今やコンプライアンスは当たり前のことでしょう。しかし残念ながら現実には、従業員と会社上層部との関係をギスギスさせる要因にもなっているようです。

企業経営の環境変化は当然、雇用環境の変化ももたらします。日本古来の労務管理手法であった「終身雇用」「年功序列」が崩れ、以前と違い労働者の権利意識も高くなってきました。つまり、労使関係が大きく変わるということです。労働契約法の制定や労働基準法の改正により労働者・従業員の権利が拡大される一方で、企業への締め付けは厳しさをましています。また、不満を持った従業員が駆け込める労働局の紛争調停委員会や労働審判といった窓口や制度も次々と登場しています。雇用・解雇・リストラ、休日・休暇、賃金・労働条件、残業・労働時間、情報管理——など、

こうした点にきちんと対処しないと、いわゆる「労務倒産」に追い込まれる事態になってしまいます。

正しい労務管理でやる気アップ 中小企業成長ための最重要策

私は社会保険労務士として30年以上にわたり、1000数百社から労働問題に関する相談を受け、解決してきました。そしてその経験上、多くの経営者は労務管理を誤解しているのだと実感しました。その誤解を解くため今回、著書を出版しました。労務管理の難しさは、社員のモチベーションをあげることです。中小企業において従業員のやる気アップは会社存続の生命線ですから、現在のように売り上げ不振等の不景気な時代にあっては会社発展の最重要施策といえるのではないのでしょうか。

私とその著書で言いたいのは“3つのリスク”です。1つは未払残業・サービス残業の問題、2つ目は情報漏えい（顧客情報、企業情報）の問題、3つ目はメンタルヘルス=過労の問題です。例えば、「これまで何も言ってこなかった従業員が突然、残業代を要求してきた」、「元社員が不当解雇を理由に訴えてきた」、「長時間・長期間の残業の末、精神に支障をきたした」——などの事例は増えて

いますし、今後ますます多くなるでしょう。そして対応を誤ると訴訟を起こされ、対応に時間を費やされた挙げ句に多額の解決金や損害賠償金を払うことになってしまいます。体力のある大企業ならいざしらず、中小企業ではこれが命取りになってしまいます。



こうした事態を回避するためには、「労務管理の何を誤解しているのか」、「その誤解によってどのような問題が起きるのか」、「問題を起こさないためにはどのような対策が必要か」を理解することが不可欠です。取り掛かりとしては、自社の諸規程を整備すること、従業員および管理職教育をしっかりとすることでしょう。このことによって、経営者の理念・方針を社員（従業員）に徹底することができます。しかし残念ながら、それでも様々な労使間の問題は起きるでしょう。そうした時の解決策の一助として、著書をご活用いただければ幸いです。（終わり）

《新刊のお知らせ》



『今すぐ捨てたい 労務管理の大誤解48』

岡本孝則（著）幻冬舎
1,365円（税込）

今や会社倒産の原因は売上減少でも値下げ競争でもなく、“労務管理”の甘さにある。適切な労務管理とは？各種の事例を用いて誤解を解き、対策を示す。

Corporate Data

中小企業経営労務研究所

www.chukeirou.com

〒225-0002 横浜市青葉区美しが丘2-28-5

TEL:045-902-0199/FAX:045-902-0374

Email:chukeirou@gol.com

■事業内容

1. 労働問題の解決
2. 採用・退職に関するコンサルティング
3. 社員教育・人材育成
4. メンタルヘルスマネジメント
5. 他、労務関係の各種アドバイス

Books



プレゼント
10名様

今すぐ捨てたい労務管理の大誤解 48

今や会社倒産の引き金は売上げ減少でも値下げ競争でもなく、労務管理の甘さに起因している。

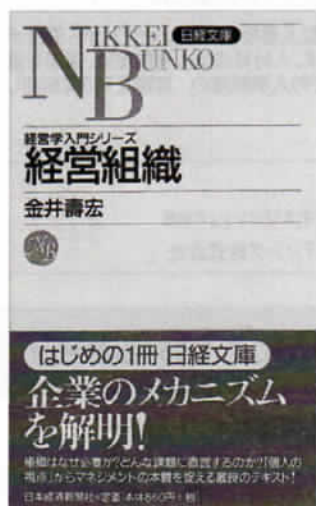
- | | |
|-----------------|----------------------------------|
| 第1章 就業規則の大誤解 | 第7章 トラブル処理の大誤解 |
| 第2章 雇用の大誤解 | 第8章 メンタルヘルスの大誤解 |
| 第3章 賃金・労働条件の大誤解 | 終章 企業成長のカギは「コンプライアンス」と「労使間の信頼関係」 |
| 第4章 休日・休暇の大誤解 | 付録、改正労働基準法の概要 |
| 第5章 残業・労働時間の大誤解 | |
| 第6章 解雇・リストラの大誤解 | |

岡本孝則 著

幻冬舎

定価 1,365円(税込)

●プレゼント提供元: 中小企業経営労務研究所



プレゼント
3名様

経営組織 経営学入門シリーズ (日経文庫)

企業のメカニズムを解明!

組織は様々な視点から捉えることができますが、本書は「組織の内部で働く個人の視点」から、組織のメカニズムを解説します。組織は、個人では実現できないプロジェクトを可能にします。組織を運営する際、モチベーション、リーダーシップ、組織文化など様々な課題に直面します。組織における個人の行動から、経営戦略との関係、組織変革まで、経営組織に関わる重要なトピックスを網羅的に取り上げました。

金井 壽宏 著

日本経済新聞出版社

定価903円(税込)

●プレゼント提供元: 企業経営ネットワーク ビズテリア



プレゼント
3名様

IR戦略の実際

基本ルールから効果的な情報開示まで、
価値向上へのプロセスを実際の事例を交えて
わかりやすく解説。

企業価値向上との関わりが増すIRについて、体系的にまとめています。第I章ではIRの基本、第II章から第IV章まではIRの実際や経営トップの関与、第V章ではIRに関連する法令・規則と情報開示の意義、第六章ではM&Aやコーポレートガバナンス、個人投資家向けIRといった課題を取り上げました。「IR優良企業」の事例なども紹介しています。

佐藤 淑子 著

日本経済新聞出版社

定価860円(税別)

●プレゼント提供元: 企業経営ネットワーク ビズテリア

プレゼントのご応募はこちら ▶ www.bizteria.com

ビズテリアWebサイト